



学校便り

たしる

自主・向学・協調・練磨

錦江町立田代中学校

令和5年12月22日発行

合い言葉 **やればできる**

成長を感じた二学期

校長 土岐 邦寿

長い二学期も終わりを告げようとしています。この4か月間で生徒の皆さんは行事を通して大きく成長しました。いろいろな行事で成長した姿を紹介したいと思います。

夏休み明けの大きな行事は、体育大会。練習する期間が短いために、一学期終わりから夏休みを使い、応援団や係の生徒が練習や制作に力を入れていました。見ていて偉いなと思ったところは、サポートする姿でした。どの分野でも得意不得意があります。器用な子もいれば、力強い子もいます。踊りが上手な子がいれば、絵を描くのが上手な子もいるのです。少ない人数なのですが、それぞれの得意分野を生かしながら、うまくできない団員をサポートしたり、構成を変える案を出し合って練習したりする姿をみて、偉いなと感じました。また、当日様々な競技が実施されました。精一杯取り組む姿がありました。表彰は後日の全校朝会で行いましたが、賞状をもらうときの目が輝いていました。保護者にも自慢したらしく、大きな自信につながったようです。



体育大会

TJK（田代自己課題解決学習）の取り組みも田代ならではのものです。半年かけて研究・制作・実践した内容を一人一人発表してもらいましたが、レベルの高さにびっくりしました。内容は新聞報道もされました。校内の文化祭や町の文化祭、あきんど選手権等で代表者が発表や販売をしましたが、多くの称賛をいただきました。この活動は将来町おこしに大いに役に立つと思います。田代中の卒業生が、アイデアを出し合い、町を盛り上げていく姿を想像するだけで楽しくなってしまいます。



TJK発表会

文化祭は全校生徒が39名だけとは思わせない、充実したものでした。各教科の展示を見ると生徒の一年間の取り組んだ様子がわかります。一つ一つ丁寧に仕上げていることに感動しました。また、各学年気合いの入った劇を見ることができました。手抜きなしの真剣な演技がそこにありました。生徒数が少ないので、一人にかかる負担はかなりのものですが、やりこなすところが田代のすごいところなのだと思います。



文化祭

そして12月のマラソン大会。長距離が得意な生徒はもちろんのこと、苦手な生徒も最後まで走りきりました。自分の子供のマラソンを走る姿を久しぶりに見たという保護者の方もいらっしゃいました。コロナ禍でなかなか学校行事を見ることのできなかつた時期が長かったです。保護者や地域の方々の声援が生徒の背中を大きく押してくれました。



マラソン大会

年末になり、子供たち一人一人を見ると一回りも二回りも大きくなったと感じることでした。頼もしく成長した生徒を日頃から見守ってくださる保護者や地域の方々に感謝しつつ、来年も大きな飛躍があることを祈念したいと思います。よい年をお迎えください。